

## 「消費者市民を考える」講座を受講して

2015年7月18日午後1時半より3時半まで、岐阜市の16プラザ研修室において岐阜大学 教育学部の田中伸先生より「消費者市民を考える」のテーマで講義をしていただきました。当日は台風11号の影響が残り、お天気のコンディションは良いとは言えない気候の中、22名もの多数のご参加を頂きました。



講義の初めは現代社会の中で「市民性の欠如」を感じさせられる問題がいくつか取り上げられ、これから必要とされる、個人が持つべき・社会が求めるシティズンシップとはどんなものであるのか、どんな市民社会を築き上げていく事が必要なのか？という問題定義がありました。



その後、市民社会の概念整理、市民社会と消費者市民、学校教育における市民性の育成（日本の場合と英国の場合、それぞれについて）、消費者市民社会を目指した教育についてのお話を様々な事例や実態を取り上げながら分かり易く説明をしていただきました。そこから消費者市民社会を消費者教育の中に落とし込んでいく手法についての提唱があり、グループ分けをした後

グループワークを通じて実践的な消費者市民社会を扱う教育活動について意見を出し合い講師からの講評を受けました。

全体の講義を通して、様々な多様性・価値観を受け入れる現代社会の中で単一化した答えを求める事は難しい。しかしその一方で「消費者」としての括りで所属を分類するとほとんどの人を巻き込む消費者市民社会が形成される事への気づきが得られました。そしてその中で「消費者市民として」様々な事象を考えさせる教育アプローチにおいては、共通した価値観や社会観、道徳観を形成・共有できる部分があるのではないかとその可能性をもっと深めていける余地があるのではないかとその思いが強まりました。多様化した社会だからこそ、皆の共通側面である消費者市民としての立場から消費者市民社会をどうデザインしていく事が理想なのか、それを考えさせる事に消費者市民社会を扱う消費者教育の意義を見出せた、そんな事が学べた有意義な素晴らしい講義の時間でした。

研修委員長 北川住江